

開発教育実践フォーラム 2018

地域 × 開発 × NGO ～SDGs 時代の開発教育を考える

持続可能な開発目標（SDGs）の達成は、国レベルですすめるだけでなく、各地域で様々な関係者が関わってすすめていく必要があります。持続可能な社会・地域づくりは、国内外の全ての地域にとって、重要な課題です。DEARでは、学習の場だけでなく、地域における暮らしや活動の中に「開発教育の視点」をもって地域づくりをする人を増やしていくことが重要であると考えています。

本フォーラムでは、最初に、持続可能な地域づくりにとりくむ NGO/NPO の活動や教育・学習活動の実践と学びを共有します。その後の分科会では、地域づくりと開発教育について、テーマに分かれ、参加者との意見交換をおこないます。それぞれの活動を通じて持続可能な社会をどうつくるのか、について一緒に考えます。

■日時：2018年2月25日（日）10:00～16:00（受付9:30～）

■プログラム（予定）：

【実践事例報告】 持続可能な地域づくりの学びの事例

10:00～12:10

1) あいさつ

2) 実践事例（各地域の5団体による報告）

（昼食 12:10～13:10）

【テーマ別分科会】

13:10～15:10（※いずれかの分科会をお選びください。）

・分科会1：「持続可能な社会のための地域資源を見つけよう！」

・分科会2：「豊中型“協働の文化づくり”から考える」

・分科会3：「持続可能な地域づくりにおける変化のプロセスと開発教育の役割」

プログラムの詳細は裏面をご覧ください。

【全体会】 分科会共有

15:20～16:00

■対象：NGO/NPO スタッフ・ボランティア（開発教育・国内事業担当者の方におすすめです）

地域の開発教育実践者、教育関係者など（定員100名）

■ところ：独立行政法人国際協力機構 東京国際センター（JICA 東京）4階 東京都渋谷区西原2-49-5

京王新線 幡ヶ谷駅下車（南口出口）徒歩8分、地下鉄千代田線・小田急線 代々木上原駅下車（北口1出口）徒歩12分

■参加費：無料（事前申し込みが必要です。HPよりお申し込みください。）

■主催：NPO 法人開発教育協会/DEAR 共催：独立行政法人国際協力機構（JICA）

■お問い合わせ：NPO 法人開発教育協会/DEAR（担当：中村・伊藤）

TEL:03-5844-3630 email:yito@dear.or.jp（伊藤）

こんな方におすすめ！

- ・地域でのSDGs実践に興味がある方
- ・地域でネットワークを作りたい方
- ・これからの開発教育を考えたい方
- ・学校でのプログラムにSDGsを取り入れたい方

▼参加申込：申込フォーム（ウェブまたはファクス送信）にて事前にお申込みください。



WEB：http://www.dear.or.jp/getinvolved/e180225.html Fax: 03-3818-5940

1. 団体名（学校名など）： _____

2. お名前（担当業務）： _____ ※おひとりずつお申込みください

3. E-mail： _____ DEAR の、メールマガジン（月一回・無料配信）購読を希望する方はチェックを入れてください。

4. 参加をご希望される分科会を 1、2、3 のうち 1 つお選びください： (1 / 2 / 3)

分科会 1	分科会 2	分科会 3
持続可能な社会のための地域資源を見つけよう！ 報告： 大野のどか・福島智子・花崎晶（八王子市民のがっこう「まなび・つなぐ広場」） コーディネーター： 中村絵乃（DEAR 事務局長）	豊中型“協働の文化づくり”から考える 報告： 上村有里・小池繁子（とよなか ESD ネットワーク（TEN）） コーディネーター： 佐藤友紀（DEAR 理事）	持続可能な地域づくりにおける変化のプロセスと開発教育の役割 報告： 上條直美（DEAR 代表理事） コメンテーター： 枝木美香（アユス仏教国際ネットワーク事務局長）、小泉雅弘（さっぽろ自由学校「遊」事務局長） コーディネーター： 阿部真理子（DEAR 理事）
【内容】 持続可能な社会をつくるための地域の資源とはどのようなものでしょうか？八王子で、実際に地域を知り、歩き、発見した地域資源をマップにする作業を通して、気づいたこと、学んだこと、を共有してもらいます。その後、参加者と共に、地域資源とは何か、どのように捉え、発見し、活かしていくのか、について話し合いたいと思います。	【内容】 地域における協働とはなんでしょう？ TEN は、「みんなで一緒にやったら楽しいやん！」が文化として根づくために、豊中市と協力して、協働の枠組みを見直す事業に取り組んでいます。行政と市民、あるいは市民と市民が対等性や双方向性をもって課題に取り組み、地域が変わっていくために。私たちが地域でできることはなにか、ともに考えましょう。	【内容】 DEAR では、「学びあいフォーラム」を通して、地域づくりにおける学びの促進を、コーディネーターの育成という形で進めてきました。本分科会では、学びあいフォーラムの 2 年間の経験を共有し、実践報告を通じて、開発教育の新しいアプローチについて、その意味、意義、開発教育の役割などについて、コメンテーターの意見も交えて協議します。

5. ご意見やご質問があればご記入ください

※託児や手話通訳、要約筆記、ガイドヘルパーなど参加に関してご要望やご相談がある場合は、2月15（木）までにご相談ください。

6. 交通費概算（往復）： _____ 円

※会場から 200km 以上の距離からお越しの場合は、旅費の一部補助を検討しております。必ずしもご期待に沿えない場合がありますので、ご了承ください。